

提言書

「Heart of Tajimi ーたじみ市民討議会 2023ー」に関する提言書

令和5年7月23日に開催されました「Heart of Tajimi ーたじみ市民討議会 2023ー」に於いて討議された意見を以下のとおり提言いたします。

大テーマ『住みやすいまち たじみ』

中テーマ『子どもが笑っているたじみのために』

討議テーマ1 子どもに多治見を好きになってもらうには？夢を持ってもらうには？

討議テーマ2 子どもが夢をかなえるためには何が必要か？

討議テーマ3 いろいろな問題を抱える今の子ども達。私達おとなは、何をしたらよいのか？

討議テーマ4 子どもの夢を応援する方法はありますか？私達は、子どもと一緒に何を考えたらよいですか？

子どもが夢を叶えるためには、

- ・おとなが、今の子どもを理解すること
- ・子どもが多くのおとなと交流をし、選択肢を広げること

が必要です。そのために、次に掲げる4つを提言いたします。

①子どもが多治見を好きになれるように、多治見出身で活躍している大人と交流できる機会や多治見の名物を知ることができる環境作りを望みます。

多治見なら夢が叶う！

学校生活の記憶は
今でも覚えている

たじみのいい所主張大会

②低学年の頃から職業体験の場を増やし、子どもだけではなく大人も共に知る事で話し合いや応援ができる環境を望みます。

夢は仕事だけじゃない！

おとなも知れば
応援できる！

子供が進路を
相談しやすい環境

③第三者として、地域の見守りや問題を発見するために、問題を抱える子どもはもちろん、子どもの今の環境の状況を知る機会や、どう対応したらよいか学べる機会を望みます。

おとなが悪口を言わない！

助けたい！

心理的安全性
話を聞いてくれる

④夢や生き方を語り合える場を望みます。

おとなの失敗主張大会

多様性を知って受け入れる

子供が安心して活動できる
金銭的支援

※付箋は、参加市民の意見を一部抜粋したものです。

これら多くの付箋意見をまとめたものが、今年の提言です。

令和5年10月6日
たじみ市民討議会実行委員会
実行委員長 水野 智恵子